

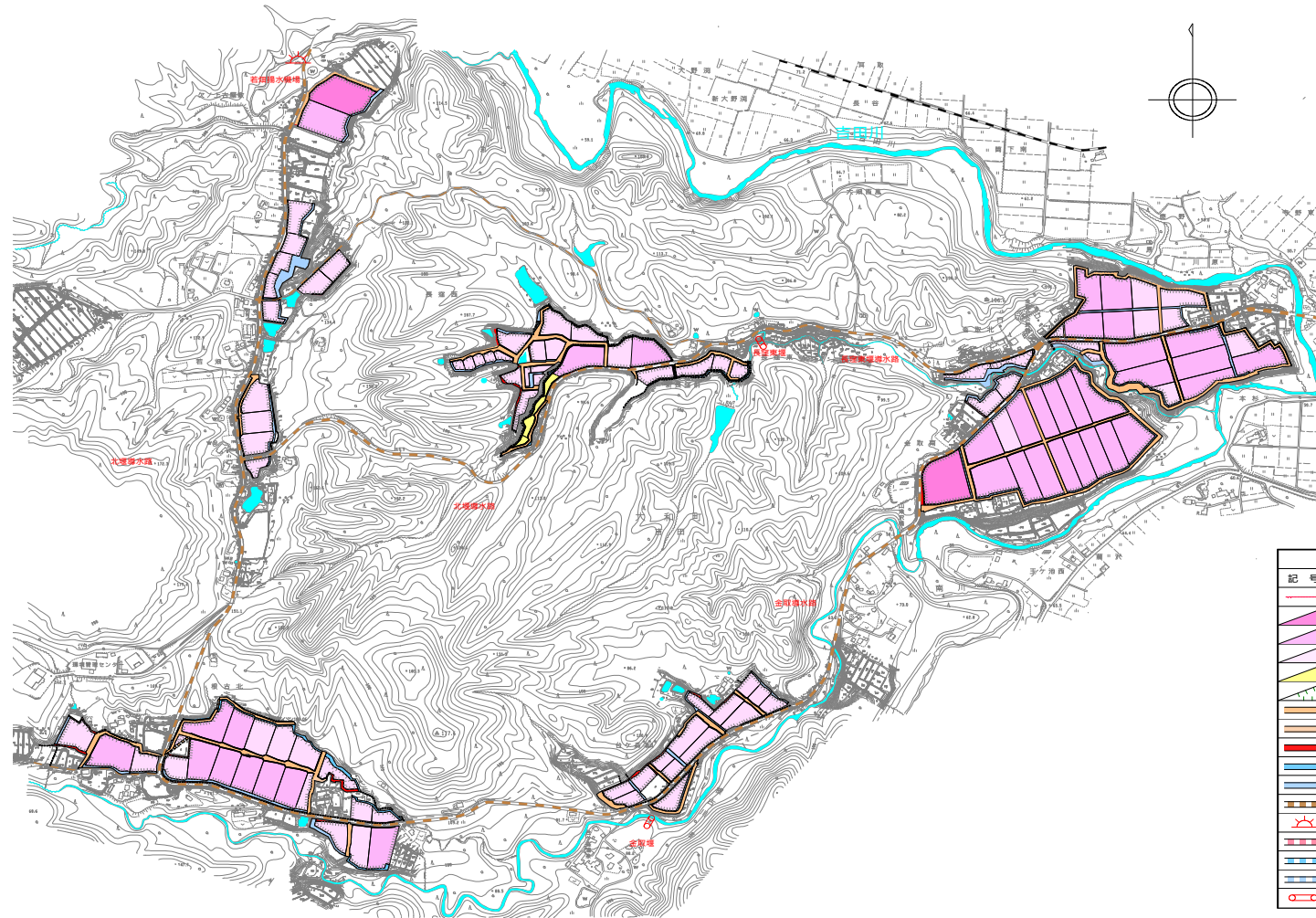
地区別事業概要

事業名	農地中間機構関連農地整備事業		地区名	吉田金取北 ^{よしだかなどりきた}
関係市町村	宮城県黒川郡大和町 ^{くろかわぐんたいわちよう}		事業主体	宮城県
事業目的	本地区は、宮城県の北部、大和町の西部（吉田地区）に位置し、一級河川南川とその支流準用河川根古川と一級河川吉田川に挟まれた丘陵地に展開する水田地帯である。 地区内の農地は5ブロックに分かれており、一部を除き昭和30年代から60年代に5～20a区画に整備されているが、区画は小さく、末端の用排水路は未整備のうえ道路幅員も狭小であることなどから大型機械の導入が困難な状況である。このため営農には多くの労力を必要とし生産性が低く近代的農業経営へ向け大きな支障となっている。 従って、農地中間管理機構関連農地整備事業によりほ場の大区画化、道路・末端用排水路、暗渠排水等の整備を一体的に行い、耕地の汎用化や水管理等の合理化を図るとともに、農地の利用集積と経営体の育成・支援を一体的に行い、効率的かつ安定的な農業経営の確立を行い、集積化を加速し豊かで競争力ある農業の実現を目指すものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	43ha	32戸	1,408百万円	令和7～11年度
	主要工事	区画整理 43ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,695百万円	1,443百万円	1.17	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：吉田金取北地区土地改良事業計画概要書（宮城県農政部農村振興課作成）

概要図

農地中間管理機構関連農地整備事業 吉田金取北地区



凡 例	
記 号	事 項
—	地区界
■	水田 (1ha以上)
■	水田 (50a ~ 1ha)
■	水田 (50a未満)
■	畑
■	暗渠区域
—	支線道路
—	耕作道路
—	用水路 (開水路)
—	支線排水路
—	小排水路・承水路
—	県・町道 (既設利用)
—	揚水機壇 (既設利用)
—	用水路 (開水路 既設利用)
—	支線排水路 (既設利用)
—	小排水路・承水路 (既設利用)
—	既設堰

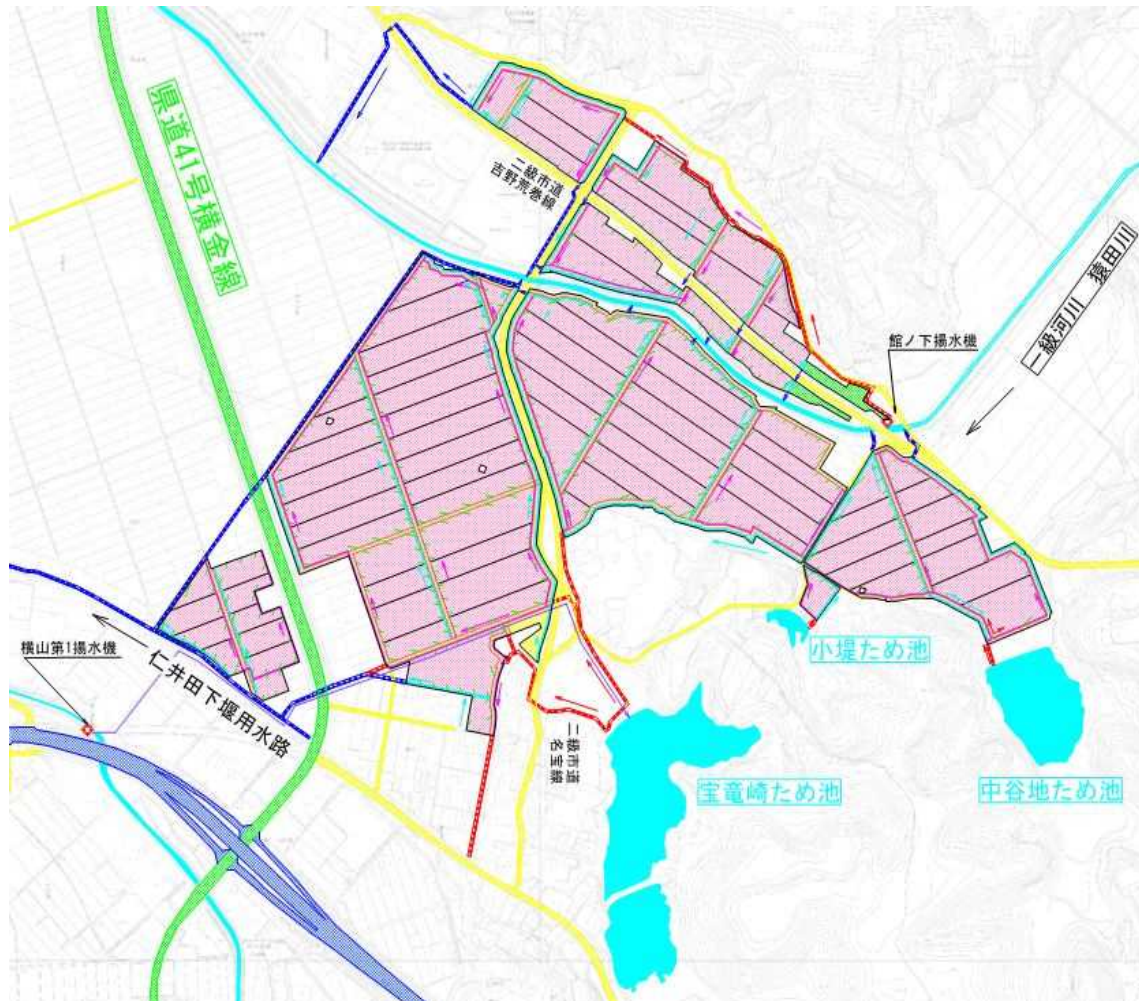
地区別事業概要

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業		地区名	猿田西 さるたにし
関係市町村	秋田県秋田市 あきたし		事業主体	秋田県
事業目的	本地区は、秋田県秋田市南東部に位置し、一級河川おものがわ雄物川水系さるたがわ猿田川沿いに展開する農業地帯で、水稻を中心とした営農が展開されている。 地区内の農地は10a区画程度であり、農道も狭小であることから、大型機械導入及び効率的営農の妨げとなっている。また、用排水路の多くが土水路となっており、転作作物の導入が進んでいない。 このため、本事業により区画整理による大区画化や道水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積の加速化を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	47ha	93戸	1,675百万円	令和7～14年度
	主要工事	区画整理 47ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	2,724百万円	1,812百万円	1.50	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：猿田西地区土地改良事業計画概要書（秋田県農林水産部農山村振興課作成）

概 要 図

農地中間管理機構関連農地整備事業 猿田西地区



県内位置図



凡	例
記 号	事 項
田 畑	区画整理
小用水路	小用水路
既設用水路	既設用水路
小排水路	小排水路
既設排水路	既設排水路
送水管	送水管
支線道路(4/5)	支線道路(4/5)
国 道	国 道
県 道	県 道
市 町 村 道	市 町 村 道
揚 水 機	揚 水 機
暗渠排水	暗渠排水
非農用地	非農用地

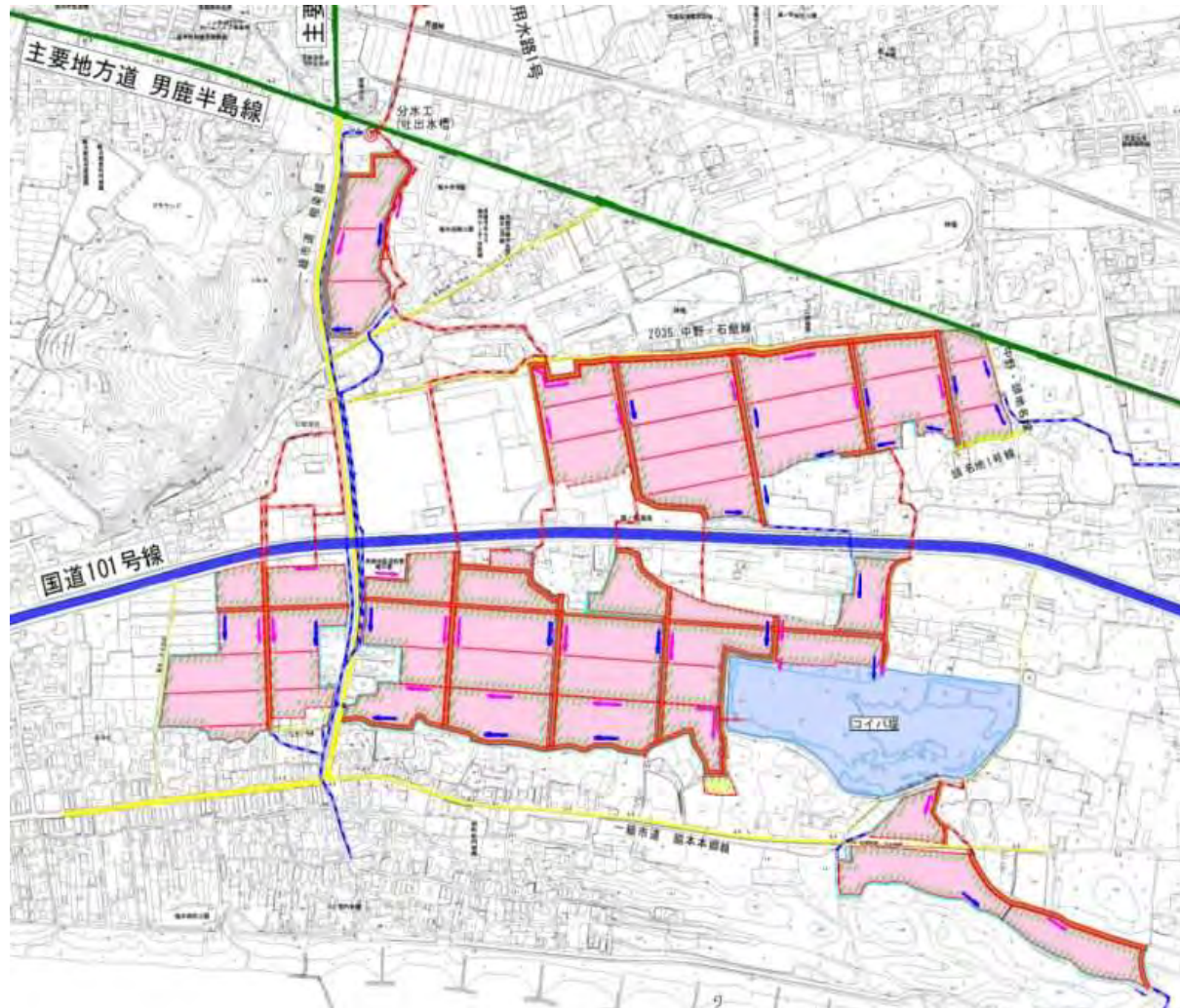
地区別事業概要

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業		地区名	脇本本村 ^{わきもとほんそん}
関係市町村	秋田県男鹿市 ^{おがし}		事業主体	秋田県
事業目的	本地区は、秋田県男鹿市東部に位置し、国道 101 号線の南北に展開する農業地帯で、水稻を中心とした営農が展開されている。 地区内の農地は 10 a 区画程度であり、農道も狭小であることから、大型機械導入及び効率的営農の妨げとなっている。また、用排水路の老朽化が著しく水管理や維持管理に多大な労力を費やしているとともに、漏水等により、農業用水の確保に支障が生じるなど営農に支障をきたしている。 このため、本事業により区画整理による大区画化や道水路整備により生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積の加速化を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	33ha	56 戸	1,220 百万円	令和 7 ～14 年度
	主要工事	区画整理 33ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,686 百万円	1,333 百万円	1.26	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：脇本本村地区土地改良事業計画概要書（秋田県農林水産部農山村振興課作成）

概要図

農地中間管理機構関連農地整備事業 脇本本村地区



凡 例	
記 号	事 項
田/畑	区 画 整 理
—	小 用 水 路
—	既 設 用 水 路
—	小 排 水 路
—	既 設 排 水 路
—	支線道路(4/5m)
—	支線道路(拡幅)
—	国 道
—	県 道
—	市 町 村 道
—	暗 渠 排 水
◎	分 水 工

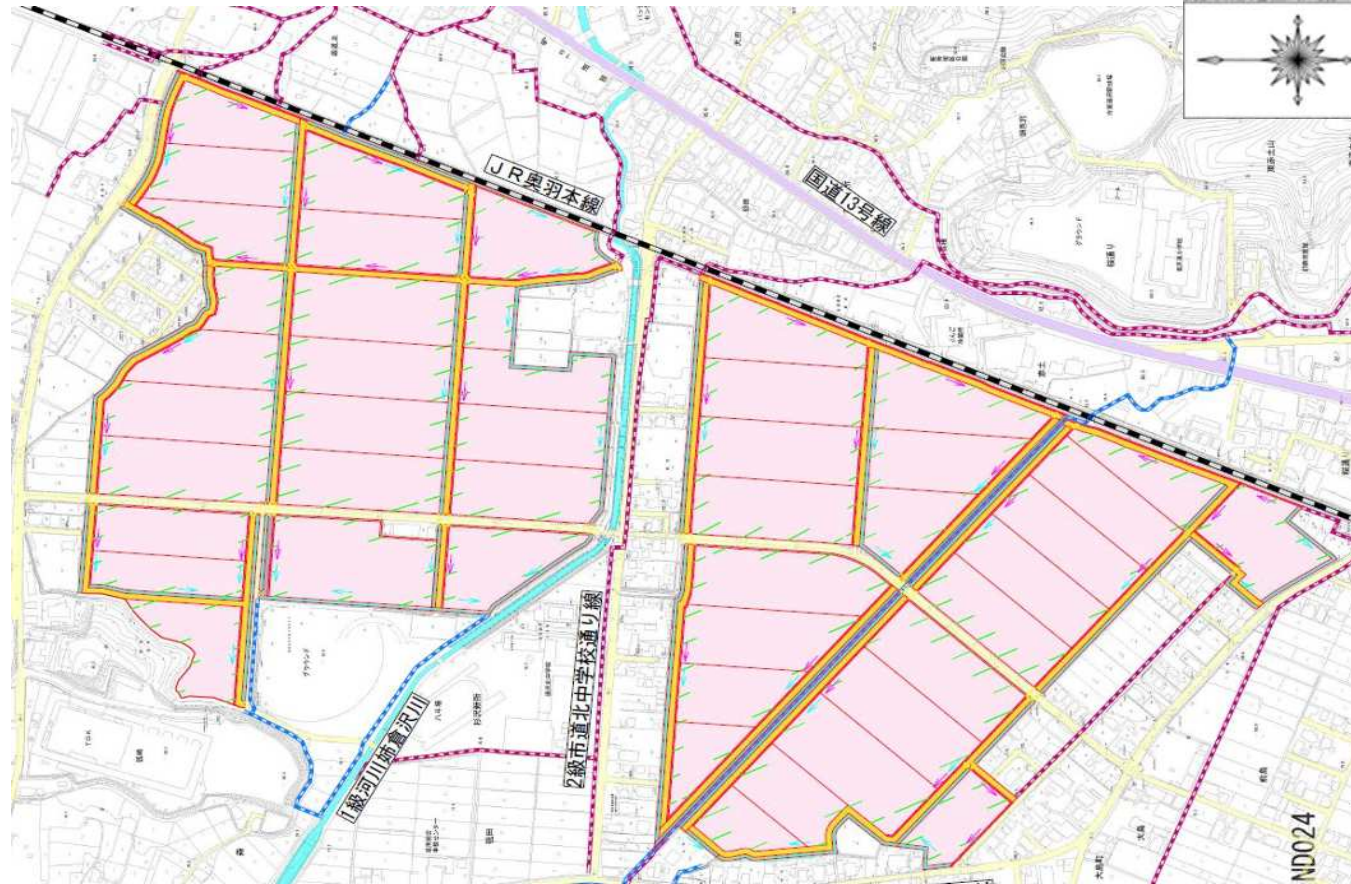
地区別事業概要

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業		地区名	すぎさわあらところ 杉沢新所
関係市町村	秋田県湯沢市		事業主体	秋田県
事業目的	本地区は秋田県湯沢市の北部に位置し、一級河川姉倉沢川の両岸に広がる水田地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。 これまでに地区内は、昭和 39 年に 10 a 区画に整備されているものの区画は矮小であり、農道も狭小であることから、大型機械導入が困難であり、規模拡大などの効率的な営農の妨げとなっている。また、用排水路の老朽化が著しく水管理や維持管理に多大な労力を費やしているとともに、漏水等により、農業用水の確保に支障が生じるなど営農に支障をきたしている。 このため、本事業により区画整理による大区画化や道水路整備により生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積の加速化を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	38ha	62 戸	1,143 百万円	令和 7 ～ 14 年度
	主要工事	区画整理 38ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	2,016 百万円	1,249 百万円	1.61	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：杉沢新所地区土地改良事業計画概要書（秋田県農林水産部農山村振興課作成）

概 要 図

農地中間管理機構関連農地整備事業 杉沢新所地区



凡 例	
記 号	事 項
田	区 画 整 理
	小 用 水 路
	既 設 用 水 路
	小 排 水 路
	既 設 排 水 路
	支線道路 (4/5m)
	支線道路 (3/4m)
	国 道
	市 町 村 道
	暗 渠 排 水

ND024